



しものせきトピックス

# shimonoseki Topics

## 市税コールセンター 業務開始

市では、民間事業者による「下関市市税コールセンター」を12月10日から開設しました。同センターでは、市税が未納の人に対して電話で納付を呼び掛けます。

同センターが金融機関のATM(現金自動預払機)の操作を指示したり、口座への振り込みや直接集金に行ったりすることなどは絶対にありません。「振り込み詐欺」などには十分注意してください。



下関市市税コールセンター  
連絡先 ☎231-2400



## 中心市街地活性化 基本計画の認定

下関市が国に申請していた「下関市中心市街地活性化基本計画」が、12月7日に国の認定を受けました。認定により、国から「まっすぐり交付金」など優先的に財政支援を受けられることになりました。認定された計画では、下関駅周辺地区から唐戸周辺地区一帯の約215軒を中心市街地活性化の計画区域としています。計画区域内で、平成21年12月から26年3月までに「下関駅にぎわいプロジェクト」などの市街地の整備や商業活性化の事業を、市が商工会議所などと協力しながら進めていきます。



## 龍馬紀行 ばんこつとう 万骨塔



昭和8年(1933年)、長門尊攘堂(現長府博物館)を建てた旧長府藩士の桂弥一は、同じ時に「万骨塔」をその傍らに築きました。万骨塔の名は、「一将功成りて万骨枯る」という漢詩の一節に由来し、成功の裏には多くの犠牲や困難があるという意味です。

塔の周囲には、全国から寄せられた都道府県の代表石や、幕末期に自らの信念に従って疾走した人々の縁石が配され、その数は200を超えます。その中には、坂本龍馬ゆかりの石として、「坂本龍馬霊石」と刻まれた物をはじめ、薩長同盟締結の場である京都薩摩藩邸の石や龍馬が幕府の役人に襲撃された伏見寺田屋の石などや龍馬が交流した人々の石も見えます。大親友の三吉慎蔵をはじめとする長府藩士たちや木戸孝允・高杉晋作といった萩藩士たちさらに龍馬が尊敬した勝海舟や横井小楠の名が刻まれた石もあります。

街の騒がしさを離れ万骨塔を一巡りすれば、龍馬の人生を、そして幕末の混乱の中で生まれた厚い友情を感じる事ができそうです。



問い合わせ 長府博物館  
長府川端一丁目2番5号  
☎245-0555